エルサルバドル政治経済月報 (2023年1月分)

2023年2月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 政権与党所属サンサルバドル県ソヤパンゴ市長の逮捕（報道：主要各紙）

12月28日、国家文民警察（PNC）は、当国検察庁が発行した逮捕状に基づき、NI所属のモンタノ・ソヤパンゴ市長を逮捕した。罪状は、(1)給与の未払い、(2)行政に不利益を与える職務違反（注：ごみの収集の不履行等）及び(3)公金の横領である。

外交

1. 韓国政府による新たな無償資金協力の発表（報道：エル・ムンド）

韓国政府は2023年にエルサルバドルに対する開発協力プログラムとして、新たに1,050万ドルを供与することを発表した。韓国はこれまで1988年から2021年までの33年間で総額9,200万ドルの無償資金供与を行ってきた。Choo Won Hoon駐エルサルバドル韓国大使は、本年はロス・チョロス高速道路の拡大および高架橋の建設工事が開始される、ロス・チョロスの工事は総工費が4億3,000万ドルであり、そのうちの2億1,000万ドルは対外経済協力基金（EDCF）を介して韓国政府が支援すると述べた。

2. 韓国政府代表団の当地訪問（報道：ラ・プレッサ・グラフィカ）

1月の第一週、韓国からJang Sung Min大統領府秘書官（未来戦略担当）を筆頭とする政府代表団がエルサルバドルを訪問した。代表団は、同5日にナジブ・ブケレ大統領と1時間40分におよぶ会談を行い、会談の終わりには同秘書官からブケレ大統領に対し公式訪韓の招待が行われた。翌6日には同秘書官はカストロ国会議長およびフィゲロア外交委員長とも会談を行った。

3. ヒル外務大臣と韓国政府高官との会談（外務省プレスリリース）

ヒル外務大臣は、ブケレ大統領との会談を終えたJang Sung Min大統領府秘書官（未来戦略担当）を迎え、両国の協力関係のイニシアティブのフォローアップのために、二国間アジェンダ及び通商分野の取り組みに係る会談を行った。

4. 韓国政府及び中米経済統合銀行による電動/LNGバスの導入計画（報道：エル・ムンド）」

韓国政府および中米経済統合銀行（BCIE）は、サンサルバドル市内での電動ないしLNGバスの導入計画の検討を行う。本計画には韓国政府の実施する無償技術協力の枠組みおよびBCIE内の韓国信託基金（Fondo Fiduciario de Donantes Unico Corea-BCIE（KTF））によって拠出される55万ドルが充てられており、2023年上半期には計画が開始される。検討段階では経済・技術的側面からサンサルバドル市に電動ないしLNGバスを導入することがどれくらい実現可能であるかが計られるほか、電子決済システムの導入も併せて検討される。

5. Zhang 次期中国大使の信任状（写し）奉呈（外務省プレスリリース）

ヒル外務大臣は、当国外務省においてZhang Yahui次期駐エルサルバドル中国大使から信任状の写しを受け取った。ヒル外務大臣は、ブケレ大統領の2019年12月の訪中以降、様々なプロジ

エクトで協働することで、中国とエルサルバドルの二国間関係は強固なものになっている旨述べた。また、同大臣は、二国間関係、経済・貿易関係を強めるためにコミットする旨繰り返し述べるとともに、エルサルバドルにとって中国との関係を深めることは極めて重要である旨発言した。

経済

1. 2022年の税収額の発表（報道：エル・ムンド）

エルサルバドル財務省は、2022年1月から12月の間の税収が67億7,100万ドルであったことを発表した。この数値は、財務省が当初想定していた税収額（63億1,820万ドル）よりも4%（2億5,270万ドル）多く、前年比では12.6%の増加となる。

2. デジタル資産発行法の可決（報道：主要各紙）

1月11日、当国国会は「デジタル資産発行法（Ley de Emision de Activos Digitales）」を可決した。本法律により、当国政府はビットコインを担保とする「火山債（Bono Volvan）」にかかる発効規則を制定できるようになるほか、仮想通貨関連企業家にとり税制優遇や緩やかな操業規則が享受できることになり良い環境を整備できるようになる。

3. 太平洋鉄道計画の進捗状況（報道：エル・ムンド）

クリスティアン・フローレス大統領府戦略プロジェクト担当補佐官は、CEPA（エルサルバドル港湾空港運営委員会）および公共事業省としては、太平洋鉄道の建設準備が整い、プロジェクトの開始はブケレ大統領の宣言次第である旨公表した。

4. 2023年1月期限の8億ドルのユーロ債償還（報道：主要各紙）

1月23日夜、ブケレ大統領は自身のツイッターを通して、当国政府が本年1月に期限を迎える8億ドルのユーロ債（注：2回の早期償還を昨年を実施しており、今回の支払は、残りの6億410万ドル及び2,340万ドルの利し）全てを償還した旨発表した。

5. ラ・ウニオン港における漁民向け埠頭の建設（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

1月23日の週、公共事業省はラ・ウニオン県のフォンセカ湾における3つの埠頭（muelles artesanales）建設計画の第二フェーズを開始させる見込み（第一フェーズは入札、建設予定地の確認等）。3つの埠頭は、フォンセカ湾のサカティージョ島、プンタ・チキリン・ビーチ、コンチャグイタ島にそれぞれ建設される予定となっている。本計画は米州開発銀行（IBD）からの借款により賄われている「生産的回廊（西語：Corredores Productivos）」プログラムの一環として行われ、1,500万ドルの資金が投入される予定。また、埠頭の建設の他にも補完的な工事として漁業従事者の集会所やレストラン等の建設用地、併せて電気や上下水道等の整備も行われる。

6. 2022年郷里送金額の発表（報道：ディアリオ・エルサルバドル及びラ・プレンサ・グラフィカ）

2022年の郷里送金額は、77億4,200万ドル（前年比プラス3.2%）を記録し、エルサルバドル中銀（BCR）が想定していた75億ドルを2億4,200万ドル上回る結果となった。またロドリゲス BCR 総裁は、エルサルバドルの家計のうち約31%が1か月あたり平均で311.5ドルの郷里送金を受け取り、郷里送金はエルサルバドルのGDP25%に相当する額である旨述べた。

7. 2022年輸出額の発表（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

(1) 2022年1年間の輸出額は、71億1,511万ドル（前年比プラス11.3%）に到達し、製造業における輸出額が63億9,490万ドル（前年比プラス10%）、農牧業、林業及び漁業における輸出額が2

億 3,360 万ドル（前年比プラス 34.7%）、エネルギー部門が 3,996 万ドル（前年比プラス 1,860.2）%を記録した。

(2) 国別の輸出額では、対米国が 27 億 5,939 万ドル（前年比プラス 6.5%）、対中米地域が 31 億 9,825 万ドル（注：対グアテマラ：12 億 1,328 万ドル（前年比プラス 13.1%）、対ホンジュラス：11 億 8,475 万ドル（前年比プラス 12.3%）、対ニカラグア：4 億 9,673 万ドル（前年比プラス 7.9%）、対コスタリカ：3 億 349 万ドル（前年比プラス 15.4%）を記録した。

8. 2022 年における当国のコンデンサ輸出額の発表（報道：エル・ムンド）

エルサルバドル中銀（BCR）によれば、2022 年の当国のコンデンサ輸出額は 2 億 5,990 万ドル（前年同期比プラス 7.8%、1,870 万ドル増）を記録した。右数値は過去のコンデンサ輸出額において最も高く、輸出量は 111 万 Kg（前年比プラス 1%）となった。なお、その全ての生産を当地 AVX エルサルバドル社（注：京セラグループのコンデンサ生産会社）が担っている。